

公表

事業所における自己評価総括表（保育所等訪問支援）

○事業所名	うんどう☆ことばの教室		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2026年 1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先での困りごとを児童発達支援での療育にて、直ぐに対応することが出来る。	訪問先での日中や生活での困りごとや、良い点を細かく聞くようにしている。	訪問した際だけではなく、定期的に訪問先に連絡し聞き取りをするようにする。
2	専門職を配置し支援に当たらせている。	運動発達、言葉の発達の段階を、より具体的に伝えるようにしている。	生活年齢と発達年齢の差をどのように対応して行くかを具体的に伝えていく。
3	同じ法人内に相談支援事業を新設した。	他の相談支援事業所とのつながりを継続していきながら、必要に応じて弊社の相談支援につなげることで、スピーディに支援の提供を行えるようにする。	関係機関などへの周知を図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員が不足している。	訪問支援に携わることが出来る支援員に求められているものは、資格だけでは足りない。保育や療育に関わってきた経験やスキルが必要と考え、訪問支援員を育てるのが難しい。	社内教育、社外教育を強力に進め、出来るだけ速やかに訪問支援員を育てるように図っていく。
2			
3			